

2024 HTB

Silvester

コンサート

シルベスター
コンサート

2024 12/31 火

開場16:00 開演17:00

終演予定19:00



札幌交響楽団 (管弦楽)
SAPPORO SYMPHONY ORCHESTRA

現田 茂夫
(指揮)
Shigeo Genda



アランフェス協奏曲
作曲 J.ロドリゴ

村治 佳織 (ギター)
Kaori Muraji

©Kazumi Kiuchi



歌劇『トスカ』
歌に生き 愛に生き
作曲 G. プッチーニ

倉岡 陽都美
(ソプラノ)
Hitomi Kuraoka



札幌文化芸術劇場 hitaru

入場料金

プラチナ席 / 10,000円 SS席 / 7,000円
S席 / 6,000円 A席 / 5,000円 B席 / 4,000円
中学生以下 (A、B席限定) / 500円

(全席指定・消費税込)

- チケット発売 / 2024年10月1日 (火) ~
- 道新プレイガイド <https://doshin-playguide.jp/> 0570-00-3871
- 市民交流プラザ・チケットセンター (北1西1 札幌市民交流プラザ2階)
- セイコーマート店内マルチコピー機 (セコマコード: E24123101)
- チケットぴあ (Pコード: 277-808) <https://w.pia.jp/t/silvester-hk/>
- ローソンチケット (Lコード: 11748)
- 地下街HTBコーナー 011-241-0146
- アサヒファミリークラブ事務局 011-251-0894

- 主催: HTB北海道テレビ
- 共催: 札幌文化芸術劇場 hitaru (札幌市芸術文化財団) / 道新文化事業社
- 企画・制作: HTB北海道テレビ
- 特別協力: 札幌芸術の森 / 札幌交響楽団 / エフエム北海道
- 特別協賛: 株式会社アミノアップ
- 協賛: 北海道ボラコン株式会社
- 後援: 北海道 / 札幌市 / 札幌市教育委員会
- 協力: JAPAN AIRLINES
- 制作協力: ミュージック・ギャラリー
- 問い合わせ: HTB広報お客様センター
011-233-6600 (月曜~金曜 10:00~18:00 祝日は除く)



※公演中止の場合以外、チケットの払い戻しは致しません。出演者、曲目、曲順はやむを得ない事情により一部変更になる場合がございます。予めご了承ください。未就学児のご入場はお断りいたします。



Caravan
作曲 D. エリントン、J. ティゾール

玉川 健一郎
(ジャズシンガー)
Kenichiro Tamagawa

江藤 良人 (ドラム)
Yoshihito Eto

南山 雅樹 (ピアノ)
Masaki Minamiyama

現田 茂夫(指揮) Shigeo Genda

1979年東京音楽大学指揮専攻に入学。汐澤安彦、三石精一両氏に師事。1982年東京藝術大学指揮専攻に入学。佐藤功太郎、遠藤雅古両氏に師事。ドレスデンフィル、スロヴァキアフィル、プラハ交響楽団、サンレモ交響楽団等に客演し、コンサート、オペラ両面で活動を続ける。1994年のプラハの春での佐藤しのぶコンサートは全ヨーロッパで放映された。神奈川フィルハーモニー管弦楽団名誉指揮者。他、国内外の主要オーケストラも指揮し好評を得ている。オペラ指揮者としての経験は豊かで二期会21、関西二期会、錦織健プロデュースオペラ、佐藤しのぶ「夕鶴」公演等、歌手からの信頼も厚い。NHKのFM「シンフォニー・コンサート」のパーソナリティを長年務める等バラエティに富んだ活動を行なっている。2023年からは東京藝術大学指揮科客員教授として後進の指導にもあたっている。

札幌交響楽団(管弦楽) SAPPORO SYMPHONY ORCHESTRA

札幌交響楽団は1961年に発足し、北海道唯一のプロ・オーケストラとして「札幌」の愛称で親しまれ、透明感のあるサウンドとパワフルな表現力は雄大な北海道にふさわしい魅力を放つオーケストラとして常に人気を集めている。歴代指揮者は名誉創立指揮者の荒谷正雄、ペーター・シュヴァルツ、岩城宏之、秋山和慶、尾高忠明、マックス・ボンマー、ラドミル・エリシュカ、マティアス・バーメルトなどが務め、現在は、名誉音楽監督 尾高忠明、友情指揮者 広上淳一、正指揮者 川瀬賢太郎を擁し、2024年4月首席客演指揮者に下野竜也を迎えた。2025年4月からはエアリス・グランディを首席指揮者が就任する。現在2名のコンサートマスターを含む75名の楽団員が在籍。年間の公演回数は道内外で約120回のオーケストラ・コンサートを行うほか、積極的に地域活動に参加し、小編成での教育福祉活動を北海道全域で展開している。50周年のヨーロッパツアーなど節目ごとに海外公演を行い、これまでにアメリカ、英国、ドイツ、イタリア、東南アジア、韓国、台湾を訪問、各地で好評を博した。北海道を拠点に世界に発信するオーケストラとしてみずみずの充実を目指す。

村治 佳織(ギター) Kaori Muraji

幼少の頃より数々のコンクールで優勝を果たし、15歳でCDデビューを飾る。1996年には、イタリア国立放送交響楽団との共演がヨーロッパ全土に放送され、好評を得た。フランス留学から帰国後、積極的なソロ活動を展開。その後N響ほか国内主要オーケストラ及び欧州のオーケストラとの共演も多数重ね、2003年英国の名門クラシックレーベルDECCAと日本人としては初の長期専属契約を結ぶ。移籍第1弾アルバム「トランスフォーメーション」は第19回日本ゴールドディスク大賞クラシック・アルバム・オブ・ザ・イヤー<洋楽>を受賞。これまでにDECCAよりCD15枚、DVD2枚をリリース。2019年1月アランフェス協奏曲を連続4公演成功させる。12月には、サントリーホール・大ホールにてソロリサイタルを行い、満席の中成功を収めた。2021年公開、吉永小百合主演映画「いのちの停車場」のエンディングテーマを作曲・演奏。2022年3月、テレビ朝日「徹子の部屋」に4回目の出演。同3月第41回「東芝グランドコンサート2022」に3回目の出演。2023年10月、デビュー30周年を記念して、ファン投票による人気楽曲を収録したベストアルバム『Canon～オールタイム・ベスト』をリリース。

倉岡 陽都美(ソプラノ) Hitomi Kuraoka

昭和音楽大学卒業後イタリアへ渡り、ボイト国立音学院入学。在学中ヴェルディの声コンクール入選。同音楽院を満場一致の満点及びLode(称賞)で卒業、新人演奏会出演。パルマ王立歌劇場研修所にて研鑽を積み劇場デビューを果たし、イタリア国内外多数の公演出演。15年間の研鑽と活動を経て帰国。札幌コンサートホールKitara主催公演、教文オペラ「ノンノ」、札幌文化芸術劇場hitaru主催「フィガロの結婚」、「Creative Art Mix vol.2」出演、2025年2月同シリーズvol.3出演予定。同年3月同劇場主催「ドン・ジョヴァンニ」出演予定。北の聲アート賞・奨励賞、第31回道銀芸術文化奨励賞受賞。札幌文化芸術劇場hitaruアドヴァイザリーボードメンバー。札幌大谷大学非常勤講師。北海道日伊協会会員。藤原歌劇団正団員。

玉川 健一郎(ジャズシンガー) Kenichiro Tamagawa

北海道出身。近藤房之助ら日本ブルース界の重鎮と出会いブルースを歌うようになる。2004年、日本を代表するバップピアニスト福居良との出会いをきっかけにジャズへ傾倒。札幌の「jazz live SLOWBOAT」でジャズ修行をスタート。後に、ジャズ・レジェンドBarry Harrisに師事。福居のもとで磨かれたジャズスピリット、Barry Harrisから学んだ繊細な歌心を併せ持つと評される。札幌を拠点に全国で活動を続ける稀有な男性ジャズシンガーである。2018年「ON A SLOWBOAT」、2021年「Sings for You」を発表。

江藤 良人(ドラム) Yoshihito Eto

南山 雅樹(ピアノ) Masaki Minamiyama

